

第9回委員会報告

小池 正造 (東新潟教会牧師)

10月28日大宮教会で行われた第9回東日本大震災被災支援委員会の報告をいたします。最初に秋山委員長より、教団が行っている「東日本大震災被災救援募金」に対して、関東教区としての目標額を定めて、募金活動を推進して行きたいと挨拶がありました。

続いて各地区の活動状況が報告されました。埼玉地区が予定していた被災地での衣料物資配布については、東北教区支援センターとの調整で、需要が満たされているため中止となりました。現在、飯能教会に保管されている衣料物資について、必要とされる場所に提供して行くこと、その為の送料は、委員会費より支出することを決めた。新潟地区は、月2回程度被災地(仙台エマオ、宮古教会)へボランティアを派遣継続しています。

教団状況の報告がありました。「東日本大震災被災救援募金」は、9月末で約5,800万円集まっています。被災教会会堂再建・復興への支援基準を検討しています。

益子教会の工事が、11月17日に完了予定で、当日午後3時30分より秋山委員長、平山代務教師、西上牧師が立ち会いのもと引き渡しが行われます。また、12月11日午後4時より益子教会復興感謝礼拝を行う予定です。

水戸自由が丘教会への支援額を34万円追加し、2,032,500円とすることを了承しました。会堂共済からのお見舞い金の予想額と実際額が異なったためです。

桐生東部教会牧師館水回り補修のため、アパートへ引っ越しをすることの報告を受け、その費用について、申請があった場合は支援をすることを決めた。飯塚統括が30日にもたれる懇談会に出席することを了承しました。

水戸中央教会の復興計画を資料により確認をしました。

各教会・伝道所の信徒宅へのお見舞いについて、罹災証明(被害認定基準の記載されているもの)を基準することを確認しました。

会計報告 (2011.3.14-10.28)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
献金	20,815,685	支援活動費	2,619,732
新潟地区	1,219,324	教会支援費	3,584,276
群馬地区	1,536,375	支援委員会費	781,802
栃木地区	892,638	貸出金	5,000,000
茨城地区	1,400,739		
埼玉地区	4,915,991		
個人・団体・学校	10,850,618		
教団救援対策金	10,000,000		
収入計	30,815,685	支出計	11,985,810
		残高	18,829,875
合計	30,815,685	合計	30,815,685

関東教区 教会被災一覧（2011年10月17日現在）

教会名	被災状況
新潟地区	
柏崎伝道所	特に被害はない
新潟教会	特に被害はない
新潟信濃町教会	特に被害はない
十日町教会	牧師館玄関壁(コンクリート部分)一部破損 補修済み
長岡教会	特に被害はない
佐渡教会	特に被害はない
新潟愛泉伝道所	特に被害はない
新発田教会	特に被害はない

群馬地区

伊勢崎教会	会堂内部の漆喰の壁が落ち、屋根の重さで壁が傾く状態となりました。余震によりその傾きが増し、現在は立ち入り禁止としています。大規模な修繕工事が必要です。
桐生東部教会	①エキスパンション改修工事 7,035,000円、②排水設備配管復旧工事 16,275,000円、③駐車場改修工事 1,995,000円 合計25,305,000円(業者見積もりによる)
泉町教会	外壁・内壁の亀裂と天井材落下の可能性。補修費として、100万円。
甘楽教会	外壁・内壁の亀裂と剥離。幼稚園舎は屋根瓦のずれと建物内部柱接合部に離れている箇所あり。被害額は不明。建物簡易診断を受けた。
渋川教会	特に大きな被害はなく、壁の亀裂が地震によって拡大、トイレのタイル補修が必要。建物簡易診断を受けた。
前橋教会	特に大きな被害はなく、若干の亀裂がみられる。建物簡易診断を受けた。
桐生教会	会堂自体は特に被害はないが、増築部分に亀裂等が見られる。
安中教会	1919年に建造された大谷石造りの新島襄記念会堂は、今回の震災により内壁の亀裂と伴う剥落が目立ち、現在（10～11月）砂壁を塗り替え工事中です。
原市教会	既存会堂と増築建物との接続部分および外壁に亀裂が入りました。外壁の全面的改修が必要です。その他の部分でも内外壁に多数の亀裂が見られ、雨漏り改修も必要です。被害額はこれから。
島村教会	歴史ある木造の会堂で、会堂講壇部分に亀裂がある。その他、精密な検査を行って、修復工事を検討する。被害額は、未定。

栃木地区

宇都宮教会	地震の被害と共に、老朽化や構造上の問題があり、その対応も必要となることから、10月9日開催の臨時教会総会で会堂建築を全員一致で可決した。
四條町教会	会堂内外壁に亀裂が多数入る。修繕費の見積もり額は、約350万円。しかし、過去2年間で600万円の修理をしたばかりで、資金的な問題から140万円で最低限の工事を行うこととなった。付属館(フライ記念館)外壁のコーキング剤がほとんどはずれた。その工事費用は、745,000円。
四條町教会清愛幼稚園	内壁に亀裂が多数。今後の改修は、現在検討中。
小山教会	牧師館ハキ出しガラスにひび。
鹿沼教会	特に被害はない。信徒宅では、屋根瓦の破損、外壁の損傷が各1件。
宇都宮上町教会	会堂は、内壁一部崩落。外壁全体にひび割れ。十字架塔の鉄骨はく離。会堂補修見積額4,931,289円。牧師館は、基礎部分損壊、アンカー露出(メーカーにて無料修理済)信徒宅では、半壊判定1軒、壁倒壊1軒。他、未定。
みふみ幼稚園	天井、壁面クロス損傷数か所、外壁全体にひび割れ。
足利東教会	会堂正面と講壇両側壁に3カ所の亀裂。
上三川教会	保育園舎の保育室の壁に亀裂。
西那須野教会	会堂外壁内壁に亀裂が多数あり、母子室天井がはがれ落ちた。また、パイプオルガンが動き、パイプが多数外れ落ちた。補修工事が行われた(牧師館も)。
西那須野幼稚園	こひつじ託児園として使用している旧保育室への被害。松下設計による建物調査が終了。

関東教区 教会被災一覧（2011年10月17日現在）

教会名	被災状況
益子教会	余震によって塔の傾きが増し危険な状態のため、塔を撤去し、外壁を作り直す。437万円の工事を、教区と業者で契約した。
アジア学院	

茨城地区

水戸中央教会	市の調査では半壊だが、取り壊しに関しては全壊扱いとなった。牧師館と集会室の半分を取壊し、牧師家族は教区の支援によって、隣の賃貸マンションで仮住まいされています。会堂及び牧師館を建築する方向で計画を立てている。 信徒宅の被害は、 U宅：家屋の傾き、屋根瓦、内外壁損傷、被害額（建築士による見積もり）3,500万円 K宅：家屋内外壁亀裂、被害額（建築士による見積もり）2,000万円 H宅：塀などが損壊、被害額は未定 S宅：屋根損傷、壁等に亀裂、被害額は不明 T宅：塀の損壊、家屋外壁の損壊、被害額不明 NM宅：屋根瓦の損壊、浴室&風呂釜損壊、ベランダ損壊、内外壁亀裂、被害額250万円 NY宅：塀の損壊、被害額200万円 FS宅：壁紙損壊、被害額180万円 FH宅：塀の損壊、被害額不明
日立教会	会堂外壁の亀裂、天井の蛍光灯・非常灯器具の抜け落ち、内壁の亀裂、欄間のガラス一部破損、集会室天井・内壁及びトイレのタイル壁の破損や亀裂、トイレドアの歪み。牧師館の外壁タイルの一部亀裂と、2階内壁に亀裂。これらの被害見積額として、1,422,624円。 信徒宅被害として、半壊（建物の歪み、宅地土台壁の崩れ、屋根瓦の崩落）が6軒。 被害額では、500万円以上が2軒、200万円未満が2軒、100万円未満が2軒。 さらに、塀などの倒壊は2軒。
勝田教会	会堂、礼拝堂正面クロス亀裂、袖壁クロス亀裂、天窓ハーバー破損、廊下壁クロス等亀裂、廊下壁クロス亀裂、被害額397,840円。 信徒宅では、屋根瓦破損（多数）、地盤沈下等で危険建物と診断された住居2軒、その他家具（多数）。被害額は不明。
勝田教会常陸大宮チャペル	緊急補修として、中庭ガラス全破損、トイレ貯水タンク破損、玄関及び礼拝堂入口破損で、333,690円。 さらに、ホール天井・壁、礼拝堂壁亀裂、礼拝堂柱破損、外壁亀裂、吊鐘塔外壁破損、テラス丸柱破損、この被害額で719,000円。 合計で1,052,690円だが、専門家の診断を受けた方がいいと考えらえる。 信徒宅の被害に関しては、勝田教会同様に多数とのこと。
水戸教会・聖光学園保育部	保育園舎の地震被害額は、約350万円とのこと。 会堂の被害額算出はこれから。
水戸自由が丘教会	会堂・牧師館補修費で、3097,500円と会堂トイレ・下水道補修費で567,000円 信徒の被害では、 N宅：屋根、内壁クロス亀裂等で250万円 M宅：屋根被害で70万円 その他：屋根壁の亀裂、床・土台損壊等が6軒あり、被害額は不明
鹿島教会	屋上の一部(防水シート)破損(礼拝堂に雨漏り) 2,068,500円、女子トイレ洗面台破損120,000円 信徒宅被害は、 S宅：基礎にヒビ、内壁一部崩落、被害額は不明 H宅：屋根瓦崩落、半壊、300万円 U宅：屋根瓦崩落、半壊、400万円 U宅：屋根瓦一部崩落、ブロック塀倒壊、50万円 O宅：屋根瓦崩落、風呂場壁損壊、210万円 T宅：屋根瓦破損、被害額は不明 Y宅：屋根瓦損壊、コンクリート基礎部分、ベランダ損壊、250万円 S宅：屋根瓦、壁、トイレ損壊、被害額は不明 K宅：外壁全面補修、種瓦損壊、風呂場、天窓損傷、ドア開閉不具合他、被害額は不明
鹿島幼稚園	地割れ対策によるフェンス設置費用 1,280,895円、消火用ポンプ破損修理代 86,415円 なお、この幼稚園の被害に対する行政の補助はゼロであり、全額自己負担しなければならなかった。
水海道教会	田んぼだったところを埋め立てているため、土地の陥没・沈下がみられる。会堂車いす用のスロープが割れ、会堂玄関ドアの床が落ち金物が露出して危険。内壁の亀裂と、女子トイレ壁タイルが割れ、落下の危険がある。牧師館内壁にも亀裂がある。被害額はこれから。
水海道教会二葉幼稚園	幼稚園の敷地周囲にある万年壁は、作り直す必要がある。幼稚園ホールも天井の落下の危険性あり。被害額はこれから。
竜ヶ崎教会	会堂は軽微で、牧師館被害額は現在見積もり中。

関東教区 教会被災一覧（2011年10月17日現在）

教会名	被災状況
竜ヶ崎幼稚園・竜ヶ崎保育園	幼稚園舎・擁壁工事が37,376,115円、保育園新園舎部分が2,205,000円、設計監理費が、5,400,000円 合計44,981,115円であり、現在国補助を申請中だが、幼稚園は最大で1/2、残りは自己負担。 なお、園庭が借地で、そこに擁壁工事をするため、地主より借地の買い上げを求められている。 また、放射線量軽減のため園庭の土の除染を行い、230万円かかった（うち、行政補助は44万円）。 園児減の中で、資金的に厳しい取り組みが続いている。
石岡教会	会堂・牧師館、壁の亀裂や破損がある。納骨堂及び墓誌では、墓誌が倒れ損傷。被害額は未定。
土浦教会	会堂・牧師館に、壁の亀裂がある。被害額は不明。
牛久教会	建物の簡易診断を行った。
諸川伝道所	内壁に亀裂、食器棚の転倒によって食器が全壊し、食器棚は廃棄した。被害額は不明。 関係施設の諸川めぐみ幼稚園では、年少組のハリがずれ、補修工事を行った。この費用が40万円。
下館教会	会堂、牧師館、関係施設（幼稚園）の簡易診断を行った。
神の愛キリスト伝道所	特に被害はない
TCAC	

埼玉地区

菖蒲教会	屋根瓦被害、壁亀裂。被害額は不明。会堂を移転し、すでに別のところで礼拝を守っている。
加須教会	会堂天井に亀裂。簡易診断を希望している。
行田教会	牧師館の屋根瓦が落下。今後の危険も考えて、スレート屋根に変更する工事を行った。工事費として、105万円。
日野原記念上尾栄光教会	牧師館前庭の隔壁が倒壊（60,375円）。会堂内壁の亀裂拡大。被害額は未定。
和戸教会	外壁に亀裂、礼拝堂内の柱と柱のかみ合わせ部分に隙間。被害額は、不明。簡易診断を希望。
浦和別所教会	簡易診断を希望
越谷教会	簡易診断を希望
小川教会	特に被害はない
上尾合同教会	特に被害はない
東京聖書学校吉川教会	駐車場に亀裂が少しある
初雁教会	特に被害はない

被害額の合計は、**教会・伝道所で約3億円、幼稚園・保育園で約8千万円。合計3億8千万円を予測しています。**

アジア学院を加えると、10億8千万円となります。

伊勢崎教会の精密診断の結果によっては、会堂の被害はさらに増える可能性があります。

教区の動きとしては、①教区内全教会に被害の調査を行った。

②被害のあった教会の資金計画を把握し要支援額をまとめていく、③教区で取りまとめた支援要請額を教団に提出する。

なお、信徒宅の被害に関しても、何らかの支援をお願いしたいと思います。

* 一部追加情報もあります。